

2016 東京国際クリーニング総合展示会レポート

1. 概要

2016年12月2日～4日の三日間、東京ビックサイトにおいて「第54回 2016 東京国際クリーニング総合展示会」および「第1回 国際コインランドリーEXPO2016」が開催されました。

この展示会は、毎年、東京と大阪にて隔年で開催されており、今回は天候にも恵まれ3日間で1万人を超える来場者数となり、人の行き来が途切れる事のない盛況となりました。



2. 当社の出展

当社は毎年、全日本クリーニング機材商協会様のブースで出展しており、今回で5年連続5回目となりました。

今回の特徴は5年間の地道な取り組みの成果が出始め、機材商協会様からご紹介頂くお客様に加え、過去浄化工事をさせて頂いたお役様からの案件紹介やガス調査を行った複数のお客様の再訪問等、より親密な商談となりました。

今後のクリーニング業界の展望としては、現在ホームクリーニング（いわゆる街のクリーニング屋さん）の市場規模、クリーニング作業所数が共にピーク時の半分以下に減少する中、今後もさらにそのスピードは加速する事が予測される一方で、環境面での規制は、来年4月からテトラクロロエチレンの分解生成物であるクロロエチレンが土壌汚染対策法の対象物質に加えられる事が決定しており、更に法の運用面においても、調査の一時的免除措置である、土対法3条1項但書申請認可の厳格化等、強化の一途を辿っています。

その様な環境変化の中で、当社はクリーニング業界において土壌汚染でお困りのお客様、お一人お一人に対して、最新の浄化技術による対策提案はもとより、汚染土地の流動化提案も含めてグループの総合力を集結し、クリーニング業界の土壌汚染問題解決に尽力して参ります。

